表 米国テキサス州政府による主な新型コロナウイルス対策関連措置

日付	項目・法令名称など	感染状況 (テキサス州)
2020年		
3月13日	災害宣言(state of disaster)を発令	感染者: 22人 死者: 0人
3月19日	10人以上の集会の禁止、レストランやバーの店内営業の禁止（持ち帰り、ドライブスルー、デリバリーは可）、学校の休校などを命じる	感染者: 108人 死者: 6人
3月26日	ニューヨーク、ニュージャージー、コネティカットの各州、およびニューオーリンズ市からの到着者に対し14日間の自主隔離を義務化	感染者: 1,394人 死者: 37人
3月29日	カリフォルニア州、ルイジアナ州、ジョージア州アトランタ、イリノイ州シカゴ、ミシガン州デトロイト、フロリダ州マイアミから空路渡航者に対し14日間の自主隔離を義務化	感染者: 2,552人 死者: 69人
3月30日	ルイジアナ州からテキサス州へ陸路で移動する者に対して14日間の自主隔離を義務化	感染者: 2,874人 死者: 89人
3月31日	必要不可欠なサービスに関わる場合を除き、他人との接触を最小限にすること。また遠隔提供が不可能な必要不可欠なサービスを除き、全てのサービスは遠隔で行うことなどを命じる（実質的な在宅命令の開始）	感染者: 3,266人 死者: 101人
4月17日	必要不可欠なサービス以外の小売店の営業再開などの州内経済再開方針を発表（テキサス州は再開に向けた具体的な日程を示した最初の州となる）	感染者: 1万7,371人 死者: 589人
4月20日	州立公園の再開を認める	感染者: 1万9,458人 死者: 672人
4月22日	一部病院での一般手術の再開を認める（院内収容人数の25%以上が新型コロナウイルス感染症患者の治療用に確保され、個人用保護具（PPE）が確保できている事などが条件）	感染者: 2万1,069人 死者: 743人
4月24日	必要不可欠なサービス以外の小売店の営業再開を認める（人同士の接触を最小限に抑えるため、店員が商品を店外の顧客の車や自宅などに届けることが条件（Retail-To-Go））	感染者: 2万2,806人 死者: 811人
4月27日	特定州・都市からテキサス州への来訪者に対して課す14日間の自主隔離の対象からルイジアナ州を除外	感染者: 2万5,297人 死者: 903人
5月1日	小売店、レストラン、映画館、ショッピングモール（フードコートなどを除く）の店内営業や、図書館・美術館の開館を認める（入場者は収容人数の25%以下に制限） ゴルフなどの屋外スポーツについて参加者を4人以下にすることを条件に認める	感染者: 2万9,229人 死者: 1,034人
5月5日	勤務者が1人だけのオフィスで提供されるサービスの再開を認める	感染者: 3万3,369人 死者: 1,165人
5月8日	理美容店、ネイルサロン、日焼けサロンの再開を認める（客席を最低6フィート（約1.8メートル）離すことが条件）	感染者: 3万6,609人 死者: 1,265人
5月18日	オフィスで提供される必要不可欠以外のサービスの再開を認める（勤務者を「10人以下」「従業員数25%以下」のいずれか多い方に制限） 必要不可欠以外の製造業の再開を認める（勤務者を収容人数の25%以下に制限） ジムなどの運動施設の再開を認める（入場者を収容人数の25%以下に制限）	感染者: 4万8,693人 死者: 1,577人
5月21日	3月29日以降、特定州・都市からの来訪者に対して課している14日間の自主隔離の制限を解除	感染者: 5万2,268人 死者: 1,650人
5月22日	飲食店の店内営業の再開を認める（来店者を収容人数の50%以下に制限） バーの営業再開を認める（来店者を収容人数の25%以下に制限） ボウリング場の営業再開を認める（レーン同士を最低6フィート保ち、入場者を収容人数の25%以下に制限）	感染者: 5万3,449人 死者: 1,680人
5月26日	テキサス州公安局（DPS）の運転免許センターの営業を段階的に再開すると発表 モール内のフードコートの営業再開を認める	感染者: 5万6,560人 死者: 1,779人
5月29日	動物園の再開を認める（入場者を収容人数の25%以下に制限） ウォーターパークの営業再開（但し収容人数の25%以下）	感染者: 6万1,006人 死者: 1,869人

5月31日	プロスポーツ（バスケットボール、野球など）の再開を認める（無観客などの条件付き） サマーキャンプ（日中型、宿泊型共）の開始を認める	感染者:6万4,287人 死者:1,915人
6月1日	公立学校の生徒による、個人の身の回りの整理や、個別指導（チュータリング）を受けるための登校を認める	感染者:6万4,880人 死者:1,935人
6月3日	「必要不可欠な事業」以外の事業所の再開範囲を広げる（上限を収容人数の25%→50%に引き上げ）。理美容店、ネイルサロン、日焼けサロンなどは、施設内で客席を最低6フィート離せば50%以下に制限する必要は無い バーの営業につき着席を前提に再開範囲を広げる（上限を収容人数の25%→50%に引き上げ） 遊園地の再開を認める（上限を収容人数の50%以下に制限。陽性反応者の累計が1,000人を超える郡を除く）	感染者:6万8,271人 死者:1,994人
6月12日	飲食店の店内営業の再開範囲を広げる（上限を収容人数の50%→75%に引き上げ）	感染者:8万3,680人 死者:2,241人
6月15日	社会人スポーツ大会の開催を認める（観客の有無を問わず）	感染者:8万9,108人 死者:2,353人
6月19日	遊園地の再開範囲を広げる（陽性反応者の累計が1,000人を超える郡でも、上限を収容人数の50%以下に制限する形で認める）	感染者:10万3,305人 死者:2,525人
6月26日	バーを閉鎖する（アルコールの配達および持ち帰りサービスは可能） 感染増の4郡（ベア郡（郡庁所在地：サンアントニオ市）、ダラス郡（ダラス市）、ハリス郡（ヒューストン市）、トラビス郡（オースティン市）において不急の手術を先送りにし、病院で十分な収容力を確保する	感染者:13万7,624人 死者:2,897人
6月29日	飲食店の店内営業を制限（上限を収容人数の75%→50%に引き下げ） 100人以上の屋外集会の開催は原則、自治体の承認が必要	感染者:15万3,011人 死者:3,162人
7月3日	屋内および屋外で社会的距離を保てない場合、10歳以上にフェイスマスク着用義務化	感染者:18万3,532人 死者:3,614人
7月17日	テキサス教育庁（TEA）が公立学校の新学期再開方針に関する新ガイドラインを発表	感染者:30万7,572人 死者:6,445人
8月6日	州内介護施設の来訪者訪問を条件付きで緩和。入居者に現状発症者が出ていないなどが条件で、施設の屋外部分のみに入れる	感染者:46万7,485人 死者:1万1,172人
8月25日	テキサスアルコール飲料委員会（TABC）は、閉鎖を命じているバー（アルコール売上が51%以上の飲食店）について、店舗敷地内に設置したフードトラックなどでの売上も店舗総売上に加算することを認めると発表（バーを再開しやすくする規制緩和措置）	感染者:58万6,730人 死者:1万4,138人
9月21日	飲食店、ジム、小売店などの店内営業再開の制限を緩和する（上限を収容人数の50%→75%に引き上げ）。ただし、地域の入院患者に占めるコロナ患者の割合が15%以下であることが条件	感染者:69万8,387人 死者:1万6,338人
9月24日	州内介護施設への来訪を許可	感染者:72万3,919人 死者:1万6,536人
10月14日	バーの店内営業再開を収容人数の50%以下で認める。ただし、地域の入院患者に占めるコロナ患者の割合が15%以下であることが条件	感染者:80万5,082人 死者:1万7,772人
2021年		
1月5日	ハリス郡（郡庁所在地ヒューストン）を含む広域で入院患者に占めるコロナ患者の割合が7日連続で15%超となる、9月21日の州知事令に基づき規制強化（バーは閉鎖、小売店レストランなどの上限を収容人数の75%から50%に引き下げ）	感染者:162万6,568人 死者:3万2,506人
3月10日	フェイスマスクの着用義務化廃止（強く勧奨に変更）。全ての事業者で収容人数100%での事業活動を認める	感染者:233万216人 死者:4万7,446人
4月6日	州政府機関などが公的サービスを受ける条件として、緊急使用許可中のワクチン接種証明を提示させることを禁止	感染者:240万8,440人 死者:4万9,013人
5月18日	州政府機関などによるフェイスマスクの着用義務化を禁止	感染者:250万1,376人 死者:5万611人
8月25日	州政府機関などが公的サービスを受ける条件として、ワクチン接種証明を提示させることを禁止	感染者:294万8,801人 死者:5万7,506人
10月11日	民間企業を含む州内の全ての団体が、従業員や消費者などに対し新型コロナワクチン接種を義務化を禁止	感染者:343万6,593人 死者:6万6,700人

（出所）テキサス州知事令。なお、感染者および死者はテキサス州は州保健局